

TAM-UBC45

取扱説明書

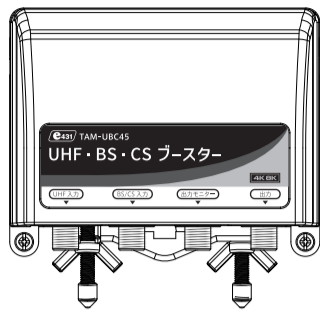
UHF・BS・CS用ブースター(増幅部)

増幅チャンネル:UHF ch.13~52・BS・110°CS

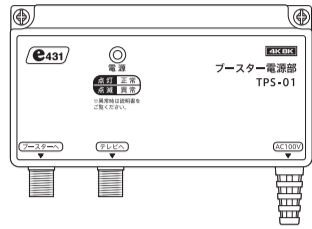
FM・VHF、スカパー!プレミアムサービス、CATVには使用できません。

4K8K
3,224 MHz

正しくお使いいただくため、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
この「取扱説明書」は、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。



TAM-UBC45
ブースター増幅部
屋外(内)用



TPS-01
ブースター電源部
屋内用

特長

- 各帯域に入力調整アッテネーターと0~-10dBの利得調整機能を備えており、レベル調整が容易に行えます。
- 給電状態を電源ランプで確認できます。
- 防雨構造を採用し、屋外でも取り付け可能です。(増幅部)

付属品

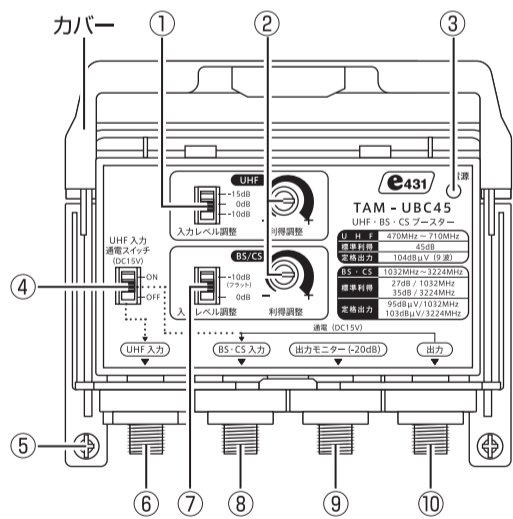
F型接栓(5Cケーブル用).....	5個
防水キャップ(大).....	3個
取扱説明書.....	1部

使用上のご注意

- ブースターは電波を増幅して大きくしますが、信号の品質を改善するものではありません。アンテナで受信した信号以上に電波の品質は向上しませんので、アンテナ直下で受信できない場合は、ブースターを使用しても受信可能になりませんのでご注意ください。ブースターは、アンテナからテレビまでの伝送路が長い場合や、複数台のテレビ・録画機へ接続する場合など、損失が大きくなって電波が弱くなる場合に威力を発揮します。
- AC100V以外の電源は使用しないでください。
- 電源の抜き差しは、コードではなく電源プラグを持って行い、濡れた手では行わないでください。
- ブースター本体、電源部の設置、配線工事の全てが終わってから、電源プラグを差し込んでください。
- 電源コードは傷ついたり、ひねったり、無理な力を加えないようにしてください。
- 電源コードが破損した場合や傷がついた場合は、そのまま使用せず、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 電源部は屋内専用です。水がかかる、ホコリ、高温多湿になる所や天井裏など見えない所への設置は避けてください。
- ブースター本体、電源部は不安定にならないよう、しっかりとした場所に設置してください。
- 電源部本体の上に重い物を載せたり、電源部を風通しの無い狭い場所への取付は避けてください。
- 電源部にカーテンや布団など燃えやすいものを被せないようにしてください。
- 電源プラグは、コンセントの根元までしっかりと差し込み、ゴミやホコリが付着している時は拭き取ってください。特に長期間使用する際は、定期的に異常が無いか確認してください。
- 長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 雷が発生している時は、アンテナ線や機器に触れないようにしてください。
- ブースター本体や電源部のカバーを外したり、中身を分解するなど改造しないでください。
- ブースター本体、電源部のお手入れは、やわらかい乾いた布で拭いてください。ベンジン・アルコール・シンナー・化学雑巾などは使用しないでください。
- 万一、ブースター本体や電源部より煙が出たり、異常な臭いがする場合は電源コンセントを抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ブースターの取付工事は、専門の技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

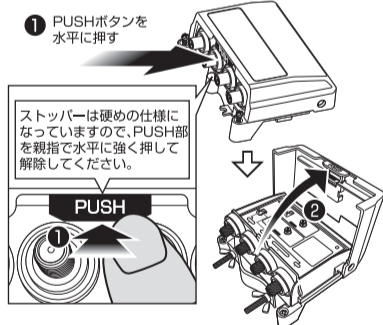
各部の名称と機能(ブースター増幅部)

カバーを開けた状態で説明しています。



カバーの開け方

- カバーの「PUSH」と印字されたストッパー部分を親指で強く押し、ストッパーを解除し、上側を持ち上げると開きます。
- カバーは本体に対して直角程度まで開くと固定されます。



カバーを閉めるときは、カチッと音がするまでしっかりと確実に閉めてください。

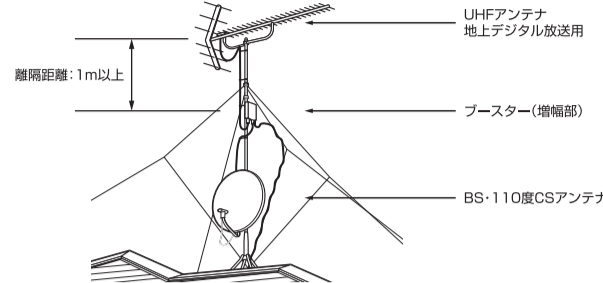
- UHF入力レベル調整スイッチ(0、-10dB、-15dB)**
アンテナからの信号レベルを下げる時に使用します。出荷時は「-10dB」になっています。
- 利得調整ボリューム**
レベルチェッカーなどを出力測定端子に接続し、定格出力レベルを超えないように、出力レベルを「0~-10dB」の範囲で連続して調整します。出荷時は「最小」になっています。
- 電源(増幅部作動)表示灯**
増幅部の作動時は「緑」に点灯します。
- UHF入力通電スイッチ**
UHF入力端子に、別売のUHFラインブースターを接続する場合は「ON」にします。(電流容量 最大0.1A) 出荷時は「OFF」になっています。
- 壁面取付用木ネジ(2本)**
壁面に取り付ける場合に使用します
- UHF入力端子**
UHFアンテナからのケーブルを接続します。締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

- BS-CS入力レベル調整スイッチ(0、-10dB)**
BS/CSの入力レベルが低い場合は「0dB」にします。出荷時は「-10dB」になっています。
- BS・CS入力端子**
BS/110°CSアンテナからのケーブルを接続します。締付トルク 2N・m(21kgf・cm)
- 出力モニター端子(-20dB)**
レベルチェッカーなどを接続して、出力レベルを測定できます。(測定値+20dB=出力レベル) 測定する場合、防水キャップ(小)、メタルキャップを取り外してください。測定後は、必ずメタルキャップ、防水キャップ(小)を取り付けてください。締付トルク 2N・m(21kgf・cm)
- 出力端子(DC15V受電端子)**
電源部の入力端子(増幅部へ)からのケーブルを接続します。締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

注意
BS-CS帯域の利得は、1032MHz : 27dB、3224MHz : 35dBのチルト特性です。

設置方法(ブースター増幅部)

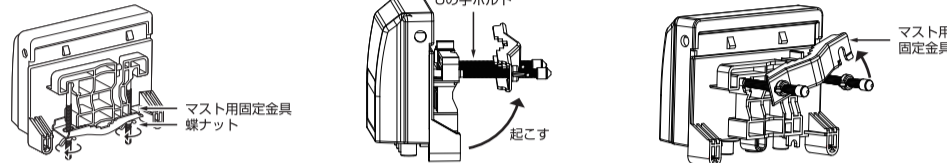
- ブースターは正しく設置してください。
- アンテナとブースター増幅部は、1m以上の距離をおいて設置してください。
- ブースターの入力ケーブルは出力ケーブルと一緒にインシュロックやビニールテープ等で束ねないでください。
- ブースター本体のフタは確実に閉じてください。
- 屋外設置の場合は、入力端子と出力端子およびモニター端子が下向きになるよう垂直に取り付けてください。
- 同軸ケーブルの接続は、付属の防水キャップを用いて確実に保護してください。
- 防水キャップは増幅器接栓部分からの水侵入を防ぐ目的ですので、防水キャップの根本はビニールテープで固定しないでください。万一、内部に水が侵入した場合、水が抜けずキャップ内部に滞留する恐れがあります。



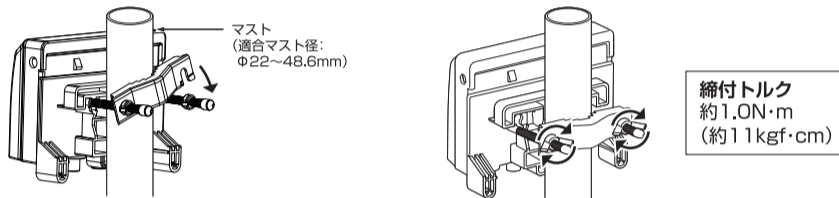
取付方法(ブースター増幅部)

●垂直マストへ取り付ける

- 蝶ナットとマスト用固定金具を緩めます。
- Uの字ボルトを90°起こします。
- マスト用固定金具の一方をはずします。



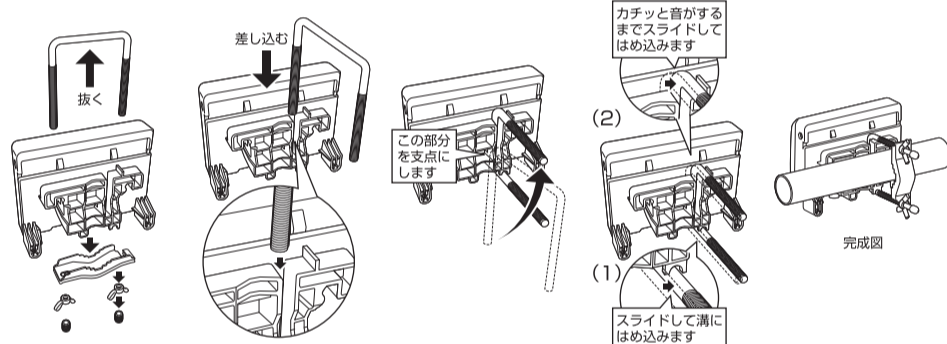
- ④本体とマスト用固定金具でマストをはさみ、マスト用固定金具をしっかりと引っ掛けます。
※本体は入力端子が下向きになるように取り付けてください。
- ⑤蝶ナット2個を均等にしっかりと締付てください。
※隙間があると脱落や事故の原因になります。



締付トルク
約1.0N・m
(約11kgf・cm)

●水平マストへ取り付ける

- 蝶ナットを緩めてマスト用固定金具、ゴムカバーをはずし、U字ボルトを抜きます。
- Uの字ボルトの片方を本体に差し込んでください。
- Uの字ボルトを回転させて起こしてください。
- Uの字ボルトを、(1)、(2)の順に、横にスライドさせて固定します。
- 上記「垂直マストの取付方法」の④、⑤を参考に、マストへ取り付けてください。



●ステンレスバンドで取り付ける

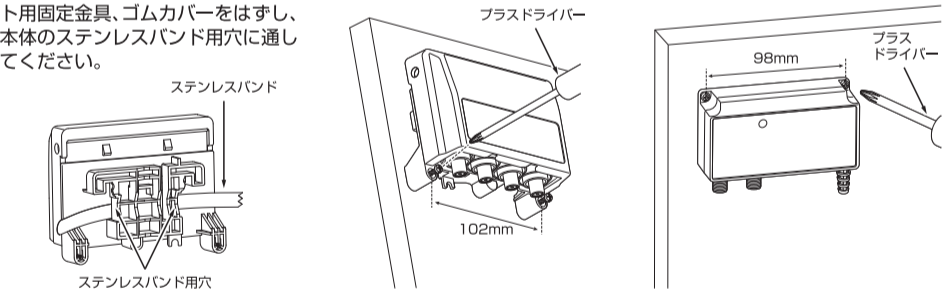
※マストがφ48.6mmを超える場合は市販のステンレスバンド(幅10mm)で取り付けられます。上記「水平マストの取付方法」の①を参考に、蝶ナット、Uの字ボルト、マスト用固定金具、ゴムカバーをはずし、本体のステンレスバンド用穴に通してください。

●板壁面へ取り付ける

ドライバーで、本体下部を取付ネジ2本で板壁面にねじ込みしっかりと固定します。

●電源部 板壁面へ取り付ける

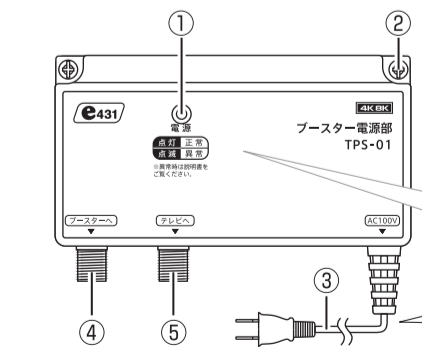
ドライバーで、電源部に付属している取付ネジ2本で板壁面にねじ込みしっかりと固定します。



設置方法(電源部)

- ブースター電源部は、ブースター本体とセットでご使用ください。
- 電源部は屋内専用です。据え置き、壁面取り付けのいずれかで設置してください。
- 電源部はAMラジオの近くに設置しないでください。ラジオに雑音が出る場合もあります。
- 電源部は動作スイッチがありませんので電源プラグを差し込むと動作します。
- ブースターの設置および配線が終了してから、電源プラグを差し込んでください。
- 電源部はDC15V、600mAの電源容量ですが、ブースター以外への電源供給は行わないでください。

各部の名称と機能(電源部)



電源ランプ
AC100Vを接続し電源が端子より重畳されると緑色に点灯します。AC100Vを接続しても、点滅を繰り返す場合は異常状態です。配線をご確認ください。
電源ランプ異常時
・早い点滅(1秒間に5回の周期)
⇒ 無負荷または、負荷電流が異常に少ない状態です。
・遅い点滅(1秒間に1回の周期)
⇒ 短絡または、過電流状態です。

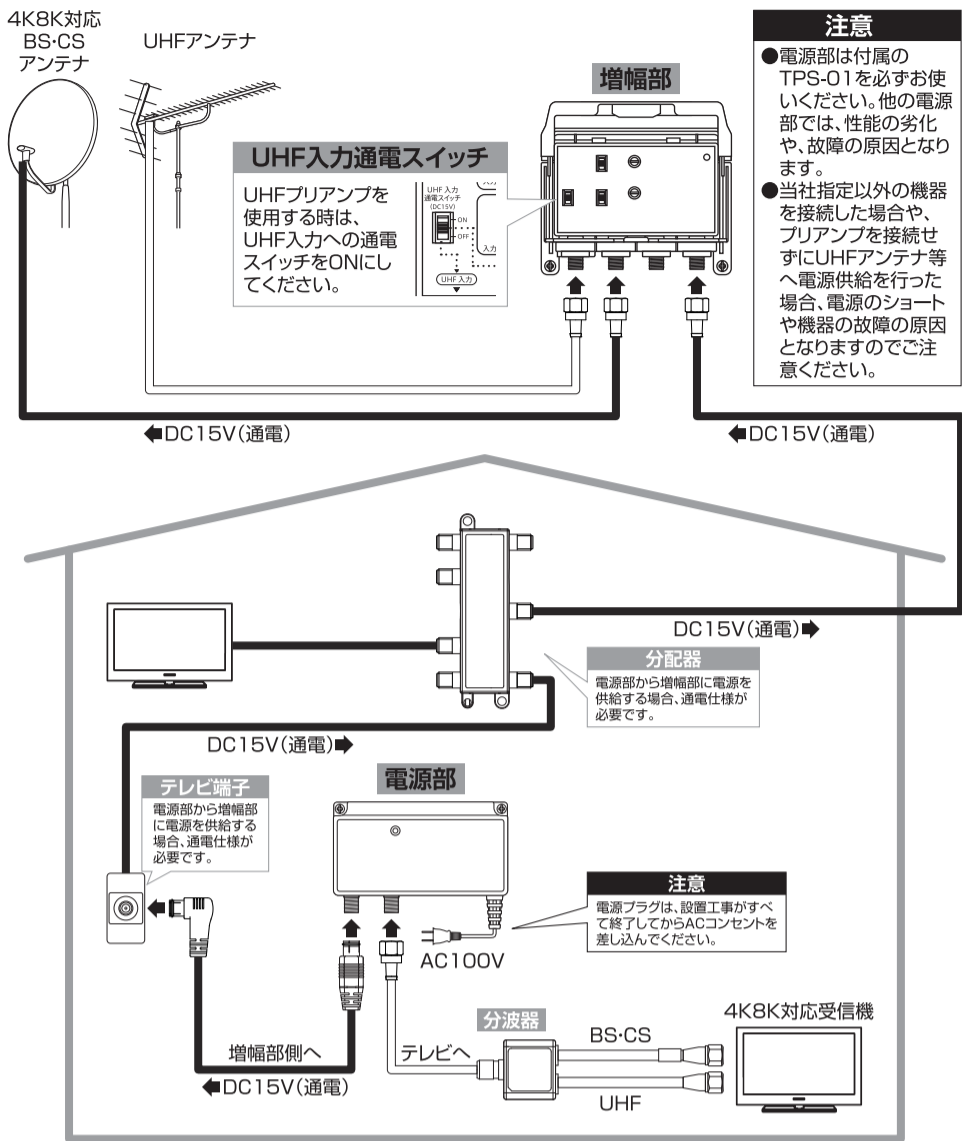
注意
電源プラグ(AC100V)は、設置工事がすべて終了してからACコンセントを差し込んでください。

- 電源(電源部作動)表示灯(緑)**
電源を供給している機器(ブースター増幅部など)との接続状態を表示灯の点灯でお知らせします。(異常お知らせ機能)
- 壁面取付用ネジ(2本)**
壁面に取り付ける場合に使用します。
- ACコード(1m)**

- 入力端子**
ブースター増幅部の出力端子からのケーブルを接続します。ブースター増幅部に電源を供給します。締付トルク 2N・m(21kgf・cm)
- 出力端子**
テレビや録画機のテレビ端子、分波器へ接続します。締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

接続例

増幅部と電源部の間に接続する機器は、通電型を使用してください。



注意

- 電源部は付属のTPS-01を必ずお使いください。他の電源部では、性能の劣化や、故障の原因となります。
- 当社指定以外の機器を接続した場合や、プリアンプを接続せずにUHFアンテナ等へ電源供給を行った場合、電源のショートや機器の故障の原因となりますのでご注意ください。

ブースターの調整方法

- UHF帯域、BS-CS帯域ともブースターの定格出力を超えないように設定してください。
- 出荷時の利得調整は、UHF帯域・BS-CS帯域とも最小に設定されています。
- 出荷時の入力レベル調整は、UHF帯域・BS-CS帯域とも-10dBに設定されています。

(1) UHFの調整

- ・テレビ受信機が正常に受信できている場合は、調整不要です。
- ・テレビ画面がモザイク状で安定しない場合。

- ①利得を最大へ向けて調整する。
利得調整を最大(右回り一杯)にしてください。
入力レベル調整のスライドスイッチを0dBへ切り替えてください。これで最大利得状態になります。
→それでも改善しない場合は②へ。
- ②利得を最小へ向けて調整する。
入力レベル調整のスライドスイッチを-15dBへ切り替えてください。
利得調整を最小(左回り一杯)にしてください。これで最小利得状態になります。
①、②でも受信できない場合は、トラブル対処法をご参照ください。

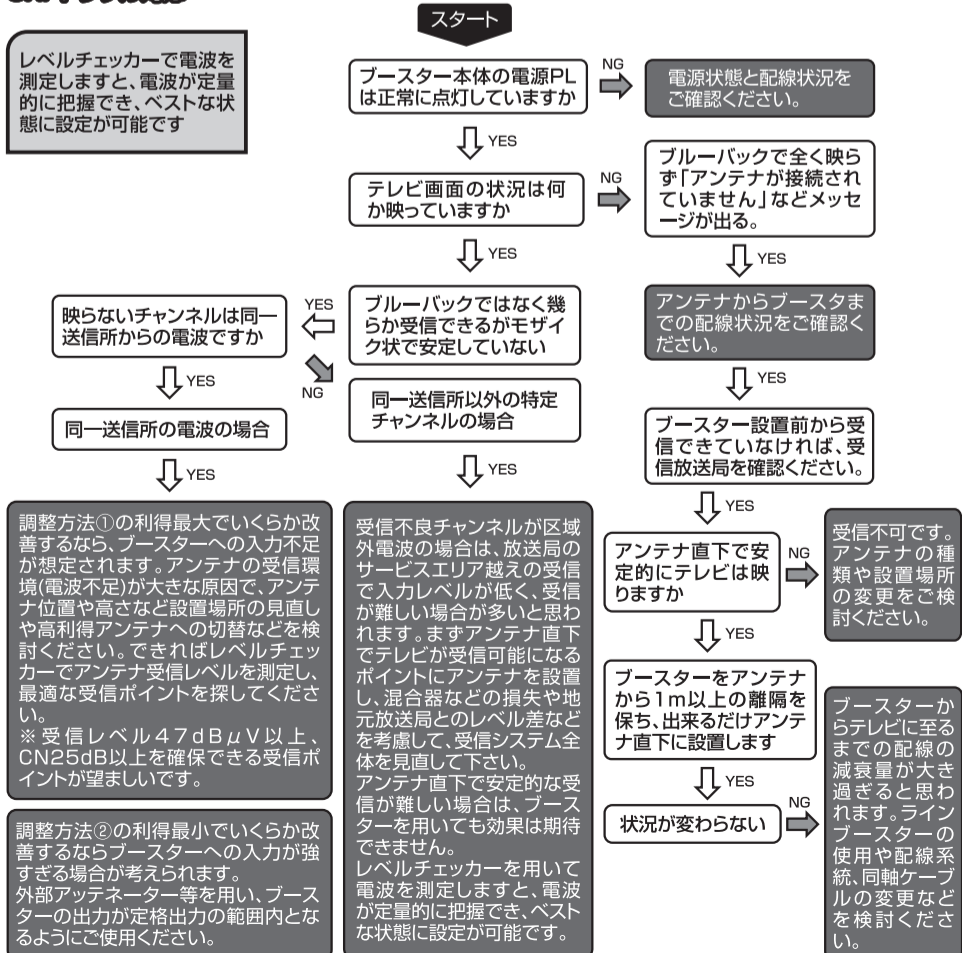
(2) BS-CSの調整

- ・テレビ受信機が正常に受信できている場合は、調整不要です。
- ・テレビ画面がモザイク状で安定しない場合。

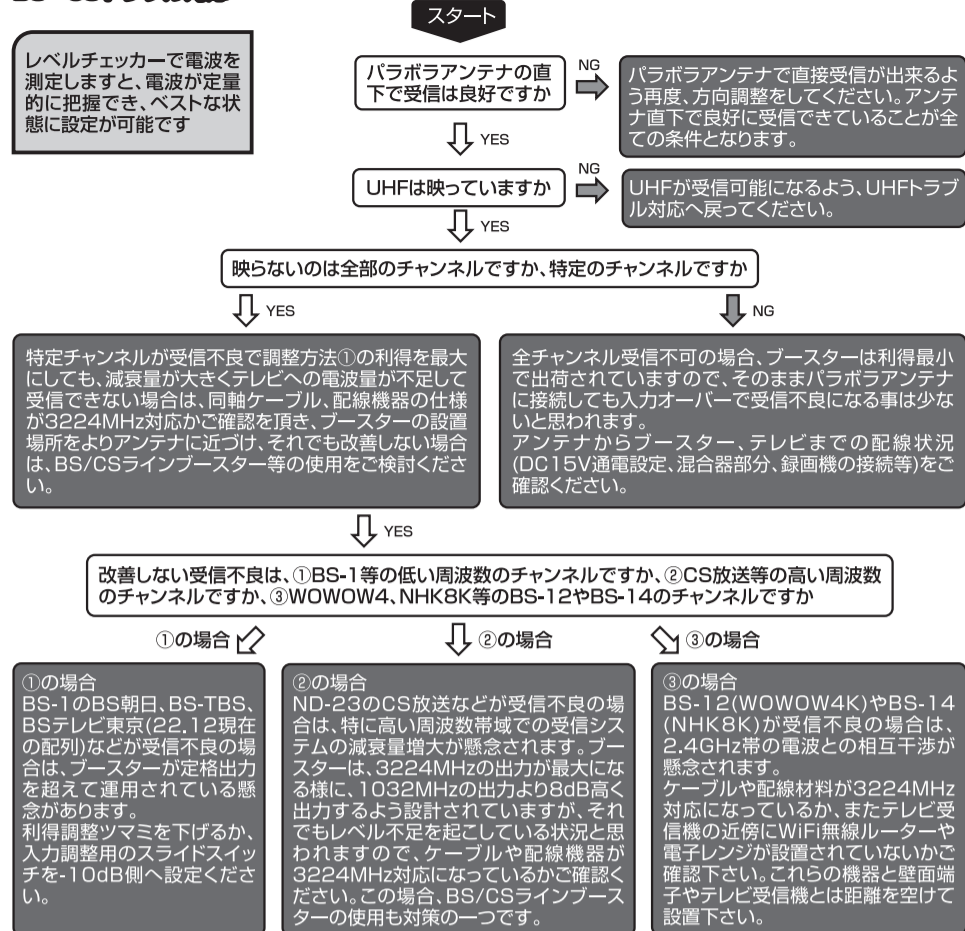
- ①利得を最大へ向けて調整する。
利得調整を最大(右回り一杯)にしてください。
→それでも改善しない場合。
入力レベル調整のスライドスイッチを0dBへ切り替えてください。これで最大利得状態になります。
→それでも改善しない場合
①で受信できない場合は、トラブル対処法をご参照ください。

トラブル事例と対処方法

UHFトラブル対応

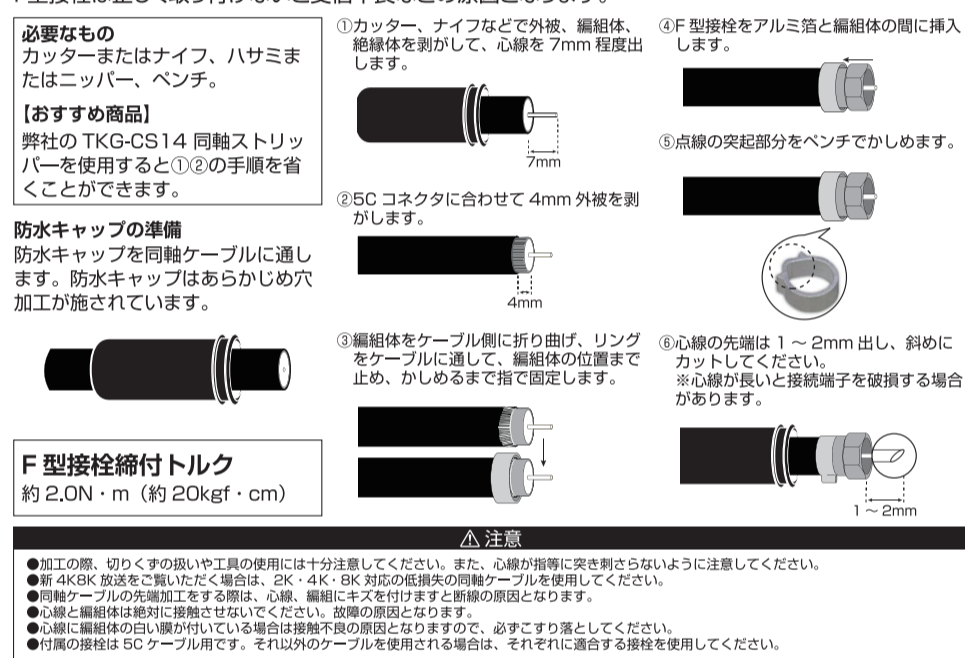


BS・CSトラブル対応



同軸ケーブルの加工方法

F型接栓は正しく取り付けないと受信不良などの原因となります。



規格表

増幅部		電源部	
品番	TAM-UBC45	品番	TPS-01
使用周波数帯域	470 ~ 710MHz (UHF ch.13~52)	1032 ~ 3224MHz (BS/CS-F)	10 ~ 3224MHz
標準利得	45dB	27dB/1032MHz 35dB/3224MHz	AC100V
入力アッテネータ	0, -10dB, -15dB切替式	0, -10dB切替式(全帯域フラット)	出力電圧/電流 DC15V/600mA(最大)
利得調整範囲	0 ~ -10dB	0 ~ -10dB	入出力インピーダンス 75Ω(F型端子)
雑音指数	1.5dB以下*	7.0dB以下	挿入損失 2.5dB以下
適正入力レベル	59dBμV	68dBμV	VSWR 1.1W
定格出力レベル	104dBμV (9波)	95dBμV/1032MHz 103dBμV/3224MHz	消費電力 11W
VSWR	3以下	2.5以下	使用温度範囲 -10 ~ 40℃
入出力インピーダンス		75Ω(F型端子)	外観寸法 68(H)×105(W)×33(D)mm
出力モニター結合量		-20dB	質量(重量) 約177g
受電電圧/電流		DC15V/0.14A	
消費電力		3W(本体)	
使用温度範囲		-10 ~ 40℃	
外観寸法		90(H)×112(W)×52(D)mm(突起物含まず)	
質量(重量)		約400g(本体)	

* 470~500MHz: 1.7以下, 650~710MHz: 2.0以下 (利得最大時)

保証書

品番・型番	UHF・BS・CS増幅器:TAM-UBC45 テレビ増幅器用電源部:TPS-01		
お客様	お名前	様	
	ご住所		
お買上げ日	年 月 日	保証期間	お買上げ日より 2年間
取扱い販売店			

- 無料修理規定
取扱説明書の注意事項に従い正しくお使いいただいた上で、保証期間内に故障した場合は、本書をご提示いただき修理をご依頼ください。弊社にて無料で修理対応をさせていただきます。
- 1. 保証期間内であっても次の場合には、有償修理となりますのでご注意ください。
 - ①ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および破損。
 - ②お買上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障および破損。
 - ③火災、爆発事故、落雷、地震、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行動による故障および破損。
 - ④公害、塩害、ガス害など腐食性の空気環境に起因する故障および破損。
 - ⑤ネズミ、鳥などの小動物、昆虫、塵埃の侵入などに起因する故障および破損。
 - ⑥指定外の使用電源(電圧/周波数)や異常電圧による故障および破損。
 - ⑦性能や機能に影響を及ぼさない塗装の色褪せや変色、汚れ、傷など経年劣化に伴う外観上の現象。
 - ⑧用途以外で使用された場合(車両や船舶などへの設置)の故障および破損。
 - ⑨設置工事、施工不良による故障。
 - ⑩適切な使用、保守、点検管理を怠ったことによる故障。
- 2. 修理対象商品の弊社への直送送料は、お客様負担とさせていただきます。
- 3. 出張修理対応は致しません。
- 4. 弊社製品の故障および不具合によるお客様の機会損失、派生の損害などの二次的損害や事故補償については、弊社は責任を負いませんので予めご了承ください。
- 5. 本書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 6. 本書は、日本国内においてのみ有効です。